

## デンタルケア ② 歯磨きレッスン編



# ?! ペットの歯磨きって必要なの？

野生動物はほとんど歯周病はありませんが、ペットは食環境が人間の生活に合わせて変化したため歯周病にかかります。歯の健康は、体全体の健康にもつながります。是非今日から歯磨きを始めましょう！

## check! 歯磨き前チェック!



### 2 コマンドに従うことができますか？



### 1 口の周りを触っても怒りませんか？ 噛み癖はありますか？

特に犬は、口を咬める＝相手を服従させるという行動習性があります。口の周りを触ることを嫌がる子が多いので無理に触ることは避けましょう。噛み癖がある場合は特に注意して始めましょう。

・『おすわり!』

楽しく遊んでいる時でも従うことができるようにしましょう。

・『はなせ!』

口をあけてタオルやおもちゃを離すことができるようにしましょう。

・『まて!』『ふせ!』

一定時間我慢して、姿勢をキープできるようにしましょう。

・『おわり(\*'▽')』

このコマンドを覚えると、嫌なことでも我慢できるようになります。



### 3 体を押さえても嫌がりませんか？

短い時間でもいいので、体を押さえることに少しずつ慣らしましょう



### 4 おやつがなくても呼ぶと近くにきますか？

呼ぶと自分から近くにきてくれていると、無理に連れてくるよりもペットのストレスが減ります。



### 5 新しいことや物を嫌がりますか？

嫌がるのは、道具で遊ばせたり撫でたりしてゆっくり慣らしましょう。



### 6 手で叱っていませんか？

『手=怖いもの』になってしまうと、触られることを嫌がるようになります。

## TRY! 歯磨きレッスン



### STEP 1 口を触られることにならそう! 『意気込まずに楽しく、気長に!』

- ①: 楽しい雰囲気の中に、口の周りを撫でてみよう。  
触らせてくれたらいっぱいホメて、おやつをあげよう。
- ②: 指を入れてすぐ出してみる。時々唇をそっとめくってみよう。
- ③: 指で歯を触ってみよう。



### STEP 2 口の中を触れるようになったら、 軽い歯磨きにチャレンジ!

- ①: 湿らせたガーゼを指に巻いて歯を触ってみよう。
- ②: 少し時間を延ばして、ガーゼで歯をこすってみよう。
- ③: 慣れたら、少しずつ奥歯の方までこすってみよう。



### STEP 3 次は歯ブラシにステップアップ!

- ①: ガーゼと同じ手順で、歯ブラシを少しずつならしていこう。
- ②: 口を開けて、歯の裏側も触ってみよう。
- ③: 歯の裏側を磨く時間を延ばしていこう。



### STEP 4 無理ないペースで続けよう

2～3日に一回は歯磨きしよう。(毎日の習慣にできればもちろん毎日が望ましいです) 少くく日にならなくても、継続することが大切。デンタルガムやデンタル用おもちも併用して楽しみながら続けよう!



### 子犬、子猫のときがトレーニングのチャンス!!

性格が出来上がるまでの柔軟な時期に当たり前の習慣として取り入れてあげると、ストレスなく続けることができます。



## おしえて!

## 歯磨き成功の秘訣!

- ☆各回に一貫性を持たせて、冷静な気持ちでトレーニングしましょう。好かれるより、信頼されようという気持ちで接してあげてください。
- ☆できるだけ短時間で欲張らずに続けましょう。今日はここまでやるぞ、など目標を持たずに『ちょっとだけ』がポイントです。急はできません。嫌がったらその日は終わりにしましょう。
- ☆はじめは歯ブラシをかじってしまうこともあります。そのまま遊ばせてあげましょう。口にはいることに抵抗がなくなります。
- ☆おやつを使ったり大げさにほめたりして、飼い主さんからのコマンドを楽しみに待つようにしつけてあげましょう。
- ☆人間という種の口にあわせてやり方をそのまま犬猫に当てはめることに無理があるので、無理せず続けましょう。